

## 東海北陸自動車道試掘調査

東海北陸自動車道建設予定地内の（仮称）光明寺B遺跡、田所遺跡、大毛遺跡、（仮称）馬寄遺跡、（仮称）林野遺跡における遺跡の有無およびその範囲の確認を目的として試掘調査を行った。調査期間および調査面積は下の表のとおりである。

（仮称）**光明寺B遺跡**（一宮市大字光明寺）T.2は畑地に、それ以外は水田に設定し、4地点の調査を行った。T.3の表土下60cmほどの砂層内より灰釉系陶器が出土した以外はほとんど遺物は出土せず、明確な遺構も確認できなかった。

**田所遺跡**（一宮市大字田所、葉栗郡木曽川町大字黒田）10地点で試掘調査を行った。県道木曽川停車場線以北では、最北のT.8を除いて古墳時代初頭の明確な遺構の広がりを推定できた。なかには弥生時代中期まで遡るものも含まれていた。県道木曽川停車場線以南、国道22号にかけては古代・中世の包含層が確認できた。したがって調査地点の両端T.6・8以外は建設予定地内のほとんどが遺跡であると考えられる。

**大毛遺跡**（一宮市大字大毛）15地点で調査を行った。国道22号の西側では、T.4・11・12を除いて奈良時代から鎌倉時代の遺構を確認できた。インターチェンジ建設予定地の中心部以外はほぼ全域が遺跡と考えられる。国道22号の東側ではT.2で遺構が検出できず遺物が少なかったものの、周辺の調査の結果、ほぼ全域が遺跡と推定できた。

（仮称）**馬寄遺跡**（一宮市今伊勢町馬寄）7か所すべて水田に設定して調査を行った。堆積状況は耕作土の下に2～3層の粘土を挟み灰緑色シルト層であった。出土遺物もきわめて少なく明確な遺構も検出できなかった。

（仮称）**林野遺跡**（一宮市萩原町林野・大和町北高井・大和町荊安賀）ジャンクションの建設予定地の東半部分について9か所で調査を行った。一部のトレンチで土坑等の遺構を検出できただけで、出土遺物も少なかった。

| 遺 跡 名 | 調査期間      | 調査面積             | 遺 跡 名 | 調査期間      | 調査面積             |
|-------|-----------|------------------|-------|-----------|------------------|
| 田 所   | 4 / 14～17 | 20m <sup>2</sup> | 田 所   | 10/ 6～9   | 40m <sup>2</sup> |
| 大 毛   | 4 / 20～22 | 30m <sup>2</sup> | 馬 寄   | 10/12～13  | 70m <sup>2</sup> |
| 光明寺B  | 4 / 23～27 | 40m <sup>2</sup> | 大 毛   | 12/ 9～10  | 50m <sup>2</sup> |
| 田 所   | 5 / 25～28 | 40m <sup>2</sup> | 林 野   | 3 / 15～18 | 90m <sup>2</sup> |
| 大 毛   | 6 / 1～10  | 70m <sup>2</sup> |       |           |                  |

